

該当学年	授 業 科 目 名	担 当 教 員	
1部2年 2部3年	保育実習指導Ⅲ	担当教員	
サブタイトル	施設支援を理解し実践力を高める	単 位 数	1
授業形態	演習		
開講時期	通年	出席要件	
到 達 目 標			
保育士としての専門性を高め、施設等で勤務する保育士としての役割を理解することができる。			
ディプロマ・ポリシー（専門士授与の方針）との関連			
本科目は、「①幼児教育に対する情熱や責任感を身につけている」、「②専門職に関する知識・技能及び表現力を身につけている」、「③多様な協働学習を通して、豊かな人間性を身につけている。」ことを目指す。			
授 業 の 方 法			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 学内オリエンテーションおよび学外オリエンテーション、実習終了後の報告会等を行う。 2. 原則として、重要事項の説明等に関しては講義形式で行う。 3. 各自の考察や作業に関しては、ペアワークやグループワークを通して意見交換や発表を行う。 4. 必要に応じて、ロールプレイを実施する。 			
テキスト・教材・参考図書			
<p>テキスト：『実習の手引き』、『保育所保育指針』 平成 30 年 『幼稚園・保育所・認定こども園実習パーフェクトガイド』わかば社 2017 年</p> <p>教 材：『実習録』、VTR等の視聴覚教材等</p> <p>参考図書：『幼保連携型認定こども園教育・保育要領 幼稚園教育要領 保育所保育指針』 チャイルド本社 2017 年 授業で使用するテキスト等</p>			
評 価 の 要 点		総 合 評 価 割 合	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習オリエンテーションでのレポート 2. 事前・事後レポート課題 3. 実習録の内容 4. 実習前指導・実習後指導への参加度 <p>以上のことを総合的に判断する。</p>		レポート	30%
		実習ノート	30%
		実習録	30%
		授業への貢献度	10%
履修上の注意事項や学習上の助言など			
<p>保育士資格取得のための選択必修科目である。</p> <p>学内オリエンテーションへの欠席者、実習前レポートの未提出者に対しては、実習中止の措置をとる場合がある。</p>			

科目名 保育実習指導Ⅲ

授業回数別教育内容		身につく資質・能力
1回	ガイダンス 本授業の目的、内容、進め方を理解する。保育実習Ⅲ（施設）の目的、概要、心構えを学ぶ。	学習目標の設定
2回	保育実習Ⅰ（施設）の振り返り①（施設の目的と役割・機能） 保育実習Ⅰ（施設）の振り返りを通し、各種施設の目的と役割・機能について理解を深める。	各種施設の目的、役割・機能の理解
3回	保育実習Ⅰ（施設）の振り返り②（保育士・生活支援員の業務内容・役割） 保育実習Ⅰ（施設）の振り返りを通し、各施設における保育士や生活支援員の業務内容や役割について理解を深める。	保育士・生活支援員の業務内容の理解
4回	支援実践のための事例研究①（受容と共感） かかわりにおける受容的、共感的態度の意義について検討する。	受容と共感の意義に関する理解
5回	支援実践のための事例研究②（ニーズの把握とひとり一人の理解） 個人差や生活環境に由来するニーズの把握、そして、ひとり一人を理解することの意義について検討する。	ニーズ把握と個別理解の意義に関する理解
6回	支援実践のための事例研究③（個別支援計画の作成と支援） 個別支援計画の意義を理解し、計画の作成とそれに基づく支援について具体的に学ぶ。	個別支援計画の策定力の習得
7回	支援実践のための事例研究④（家庭支援） 保護者、きょうだい等家庭支援の事例をもとに、家庭の状況把握とそれに基づく支援を具体的に検討する。	家庭支援に関する理解
8回	実習関係書類の作成等について 実習に際し、施設や大学等に提出する書類の作成について学ぶ。	公文書作成における基礎的能力
9回	支援実践のための事例研究⑤（他職との連携） 児童や利用者に対する各種専門職の役割・機能を理解し、連携のあり方を具体的に検討する。	各種専門職の役割や連携に関する理解
10回	支援実践のための事例研究⑥（地域社会との連携） 児童や利用者を取り巻く社会資源の現状について確認したうえで、その有効的活用のあり方を検討する。	社会資源の活用に関する理解
11回	職業倫理の理解とそれに基づく実践 支援等業務を行う際に遵守すべきことについて、各種施設の職業倫理規定等を拠り所に理解し、実践に備える。	職業倫理に関する理解
12回	実習に際しての健康管理、諸検査について 実習前、実習中の健康管理と、実習前に行う諸検査、及び、施設に提出する検査報告書等について学ぶ。	健康管理や諸検査等の意味と実行、証明に関する理解
13回	直前学習 実習における各自の課題を達成するためにこれまでの学習内容を振り返り、準備事項の確認と必要に応じて知識等の補充を行う。	事前確認能力の獲得
14回	実習の総括と自己評価 養育、及び、支援の場の現状を振り返り、あわせて、現在の自分自身について考える。	実践の場の現状把握と自己覚知
15回	今後の学習課題 実習を振り返り、今後の学習課題について各自検討、考察する。	新たな学習課題の設定